

ビフォー
アフター

1年生

夏休みの振り返り指導ツール

自校の指導ツールや分析方法を他校の教師と共に検討し、各校の生徒特性に合った形への改善を図る本コーナー。今回は、1年生の秋を充実させるための夏休みの振り返りと、9月以降の目標設定について検討する。

検討会メンバー



群馬県立
下仁田高校
高橋真人
たかはし まさと

教職歴13年。同校に赴任して7年目。1学年主任。生徒指導部。数学科。「物事に謙虚に、楽しく取り組む大切さを、自らの姿を通して生徒に教えたい」



東京都立
青山高校
鎌田邦広
かまた くにひろ

教職歴27年。同校に赴任して3年目。主幹教諭。進路指導主任。数学科。「目一杯やりきった」そんな最高の笑顔で卒業してもらいたい」



宮城県立
延岡星雲高校
柳井健二
やない けんじ

教職歴23年。同校に赴任して7年目。主幹教諭。渉外広報部長。英語科。「伯楽にはなれないが、スポットライト係となって、個々の良さを照らしたい」

群馬県立下仁田高校・高橋真人先生
1年生夏休みの振り返りシート

夏休み振り返りシート

組 番 氏名

夏休みの課題を期限内にやり終えられたか	国語	終了	未
	地歴	終了	未
	数学	終了	未
	理科	終了	未
	英語	終了	未
夏休みの課題以外のものでも学習したことがあるか。あれば、学習したことを記入してください	<ul style="list-style-type: none"> 		
生活面(家庭環境など)で何か変化があったか	有	無	
生活リズムの変化があったか	有	無	
友人関係でトラブルがあったか	学校内	有	無
	学校外	有	無
部活動は充実していたか	していた	していなかった	
夏休み中に最も印象に残った出来事を記入してください			
その他、何かあれば記入してください			

ビフォー

例年、夏休み中の課題を終えないうまま9月を迎える生徒がいるが、期限を過ぎても必ず提出することを同校では徹底している。どの生徒が、どの教科・科目の課題を残しているのかを担当が把握するためのチェック項目。

高橋先生が最も重視する項目群。夏休み中の生活面での変化を早めに把握することが、1学年では特に重要だと考えている。基本的には夏休み明けの面談で生徒の正確な状況を捉えるのだが、面談に向けて事前に変化を洗い出すための機能として今回のシートに盛り込んだ。

狙いと機能

生徒の変化をキャッチし
前を向かせる

群馬県立下仁田高校では、今年度、1学年主任となった高橋先生の発案で、夏休みの振り返りシートを学年共通の書式で使用する予定だ。生徒は夏休みの間、長期間学校から離れるため、生活習慣や学習習慣が乱れがちになる。また、それまでのクラスや部活動を中心とした友人関係に変化が生まれるケースもある。同校では従来、9月の面談でそうした変化を捉えてきたが、面談前に注意が必要な生徒をきちんと把握し、早期のアプローチを行うために、今回の振り返りシートを考案した。また、振り返りをさせながらも、生徒に2学期以降を前向きな気持ちで過ごさせるために、新たな目標設定につなげたいという思いもある。

検討

振り返りにとどまらず、
9月からの決意も新たにさせたい

高橋 この振り返り

シートは、今年度の9月に初めて活用を予定しています。ぜひ、先生方から改善のアイデアをいただきました。シートを作る上で気を付けたのは、生徒が気軽に回答できて、目を通す担任にとっても負担にならないようにすることです。特に注意が必要な生徒をおおまかに把握し、その後の面談につなげられればよいと考えました。



鎌田 細かく尋ねていないので、生徒が答えやすいですね。ただ、

質問の仕方はもう少し吟味してもよいかもしれません。高橋先生は「友人関係でトラブルがあったか」など、ストリートに尋ねていますよね。教師にSOSを発信したい生徒にはこれくらい直接的な質問の方が答えやすいのかもしれませんが、ネガティブな質問表現に構えてしまい、答えにくくなる生徒もいるでしょう。「友

人との思い出で、一番楽しかったことは？」と良い思い出を振り返ったあとで、「一番一緒に過ごした友人は？」と聞いて、「校内、校外」などの選択肢から選ばせてはどうでしょうか。



柳井 生徒の変化を見逃してはいけないとい

う高橋先生の思いが伝わる、良いシートだと思います。ただ、今の内容だと担任と生徒との間を行き来するだけです。友人同士で話し合わせて、9月からの刺激になるものに出るとよいですね。例えば、ボランティアや探究学習など、夏休みに取り組んだ活動を友人と紹介し合い、認め合えるような雰囲気クラスに育んでいきたいです。

高橋 本校の1年生は学習面での目標が持ちにくく、文理選択もモチベーションを高めることにつながりにくいため、高校生活への意欲を高める仕掛けも考えたいです。

柳井 本校でも、1年生のモチベ

課題と解決策

- 1 夏休み後の振り返りだけでなく、9月以降に目を向けさせるような項目を設ける
- 2 生徒のSOSをキャッチするために、ネガティブな表現での質問が適切かどうか、生徒特性を踏まえて吟味する
- 3 クラスの生徒同士で見せ合い、意欲を高め合えるようなシートを目指す

ションアップは課題の1つです。だからこそ、本校でシートを作るなら、振り返りよりも未来を見据えた目標設定を重視すると思います。シートの下半分は7月の進研模試の結果を基に、今後の目標とその実現のための実行項目を書かせるのも一案です。

鎌田 夏休みを「出来た・出来なかった」という項目だけで振り返るのでなく、出来なかったことに対しては、その理由を分析させてもよいかもしれません。時間が足りなかったからか、方法が適切ではなかったからかなどを整理するだけでも2学期以降に生かせるでしょう。少しでも次に生きる振り返りにしたいです。

高橋 振り返りだけでなく、未来を語るようなシートにしたいですね。

学校プロフィール

群馬県立下仁田高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約60人/2年次からアドバンスコース、ビジネスコース、カルチャーコースの3コースに分かれる
◎2015年度進路実績(現役のみ)/4年制大進学4人、専門学校進学21人、就職36人。

東京都立青山高校

◎全日制/普通科/共学/1学年約280人
◎2015年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東京大、東京工大、一橋大、京大などに108人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ612人が合格。

宮崎県立延岡星雲高校

◎全日制/普通科・フロンティア科/共学/1学年約200人
◎2015年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、九州大、九州工大、熊本大などに33人が合格。私立大は、法政大、関西大、福岡大などに延べ147人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ
1年生「夏休みの振り返りシート」を改良!
次ページで紹介します。

アフター

夏休みの振り返りと2学期の未来予想図

組 番 氏名 _____

夏休みの振り返りは、シートの上半分に収める。夏休みの課題で出来ていないものについては、「いつまでに何をするのか」を明確に記入させる。学習面について更に詳しく聞く場合には、教科ごとに「しっかりと取り組めたこと」「思うように出来なかったこととその理由」を書かせる。

夏休みの振り返り	夏休みの課題を期限内にやりとげられましたか (未提出の場合は記入) 何を、いつまでにするのか		
	国語	終了・未 → ()	
	地歴・公民	終了・未 → ()	
	数学	終了・未 → ()	
	理科	終了・未 → ()	
	英語	終了・未 → ()	
夏休みに何か変化はありましたか			
生活面(家庭環境など) 有・無 / 友人関係 有・無 / 部活動 有・無			
夏休み中に最も印象に残った出来事を記入してください			

12月の自分未来予想図	勉強	12月時点での理想の自分	実現のためにこう努力する
	部活動・行事	12月時点での理想の自分	実現のためにこう努力する
	進路やその他 地域活動など	12月時点での理想の自分	実現のためにこう努力する

シートの下半分には、12月を迎えた時点で「こうなっていたい」という目標と、その実現のために取り組みたいことを書かせる。

夏休み明けのクラス開きとして「12月の自分未来予想図」を生徒同士で話し合いながら記入させ、その後「夏休みの振り返り」を個別に書かせて担任が回収してもよい。

活用の流れ

夏休み前にシートの中の振り返り項目を確認させて、夏休みの過ごし方への意識を高める

夏休み明けに夏休みの振り返りをさせ、それを踏まえた

これからの目標を記入させる。
なお、目標をペアワークなどによってクラスで共有する場合は、先に目標部分から記入させてもよい

シートを担任が回収し、必要に応じて面談を行う

改訂後の狙いと機能

夏休みの振り返りと共に抱負を書かせて前を向かせる

1枚のシートを「振り返り」と「自分未来予想図(抱負)」の2部構成とした。上半分の「振り返り」では、未提出の課題をいつまでに提出するかを明らかにさせ、「次の提出期限までには確実に済ませよう」と気持ちを引き締め直すものとした。また、夏休み中の変化を尋ねる項目ではネガティブな表現を控えて、生徒がより答えやすくなるように配慮した。

下半分の「自分未来予想図」では、勉強や部活動など高校生活のシーン別に「12月時点での理想」

と「その実現のために努力すること」を記入させるようにした。また、こちらは前向きな言葉が上がりやすいため、生徒同士のペアワークなどを実施することで、クラス全体の意識向上に結び付けることも出来るだろう。

夏休みの振り返りと2学期の目標設定のどちらに重きを置くかは、学校の状況によって異なる。「2学期以降の抱負を重視する場合は、下半分のスペースを大きく取った上で、掲げた目標に対して『すべきこと』『出来ること』『したいこと』のいずれのレベルで達成したいのか聞いてもよい」(柳井先生)という案も出た。



ビフォー アフター

活用

1学期の成果を土台に
あるべき自分像を描かせる



高橋 振り返りだけでなく、1学期と同じように目標を立てさせてみようと思います。模試や文理選択が学習意欲につながりにくい本校の生徒でも、**1学期を終えて高校生活の様子**が分かったからこそ、「授業をもっと真面目に聞いて、1学期よりも良い点数を取る」といった言葉が出てきそうです。

柳井 目標を書かせる際には「〇〇することによって、△△を実現する」という目標とための行動を語らせることが重要です。目標から逆算して、これからの取り組み方を考えることを習慣付けたいです。



鎌田 勉強、部活動、行事それぞれについて、「こう努力すること

で、こんな自分になっていたい」と宣言させたいですね。夢を語ることも大切ですが、その実現のための手段を語ることが、更に大切だと私も

思います。大きな夢や目標でなくてもよいので、「1学期は先生に言われたから宿題を出せた。2学期からは先生に言われなくてもやろう」と、自分にとって少し上の段階を目指すものでもよいでしょう。

高橋 宿題などを1学期にどこまで提出できていたかをチェックして、「2学期からも引き続きしっかりやろう」と呼び掛けてみたいですね。このクラスはここまででは出来ていたのだから、2学期はここから頑張ろうと、スタートラインを共有してもよいですね。

柳井 挨拶や掃除など、今まではきちんと出来ていたのに、夏休み明けから出来なくなる生徒はいます。ただ、それは**高校生活に慣れ、肩の力が抜けた証拠でもあり、私は思います。** 気の緩みが大きなほころびになっては困りますが、細かく指

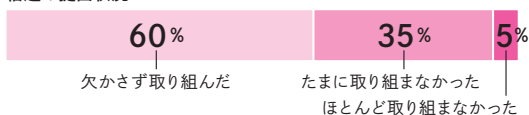
● 1学期に出来ていたことをクラスで共有する

◎ 1学期の状況チェックリスト (当てはまるものに○をする)

- | | | | |
|-----------|---------------|-----------|-----------|
| 宿題 | ・欠かさず取り組んだ | 遅刻 | ・遅刻しなかった |
| | ・たまに取り組まなかった | | ・たまに遅刻した |
| | ・ほとんど取り組まなかった | | ・ほとんど遅刻した |

◎ クラスの状況を集計

宿題の提出状況



※検討会議を基に編集部で作成

「2学期になって未提出物や遅刻などが増えることがないように、1学期では、このクラスはここまで出来ていたという成長を可視化しておきたい」という高橋先生の思いから考案したチェックリスト。生徒に自身の状況を答えさせ、集計結果を共有して、「12月の時点では、この数値を上回るように頑張ろう」と呼び掛けるようにする。

導しすぎず、生徒の主体性を育てたいという気持ちもあります。

鎌田 目の前の生徒の変化に、おおらかに向き合うのか、それともおおざっぱに対処するのか、2つの対応は似ているようで実は全く違います。おおらかな担任のクラス、学年は、大崩れしないものです。そして、規制が厳しい学年ほど、指導時に教師による温度差が生まれてしまい、おおざっぱな指導になることもあります。

柳井 あまり細かく言いつぎると、「これをする」と怒られるかも」など

と萎縮し、文化祭などにおける生徒の主体性が損なわれてしまうことがあるように感じます。

高橋 「おおらか」と「おおざっぱ」をもっと区別したいと思います。多分、私の指導には、もっとおおらかであつてよいところもあつたはずですが、一方で、学年主任としては、教師間の温度差は少なくしないといけないと思いました。振り返りだけにどまることなく、2学期のクラス開きを前向きなものにするために、シートをうまく活用してみます。

